

## 茨城大学学生の合同企業説明会に関する現状と課題

小磯 重隆\* 菊池美也子\*\* 小泉 崇人\*\*\*

(2017 年 12 月 8 日 受理)

### Current situation and issues concerning joint companies briefing sessions

Shigetaka Koiso\*, Miyako Kikuchi\*\* and Koizumi Takato\*\*\*

キーワード：合同企業説明会，就職支援，キャリア教育，就職活動後ろ倒し

#### はじめに

学生就職支援センター（現全学教育機構キャリアセンター）では、平成 29 年 3 月 2 日～3 日に開催した「茨城大学合同企業説明会」に参加した学生を対象に、就職活動準備状況や合同企業説明会に対するアンケート調査を行った。合同企業説明会の実施及びアンケート調査による教育実践を報告するとともに、大学主催の合同企業説明会に関する現状と課題を考える。

大学生の就職状況は近年好転し、いわゆる「売り手市場」と呼ばれている。文部科学省が発表した平成 29 年 3 月大学生の就職率は 97.6%（前年同期比 0.3 ポイント増）であった。平成 30 年 3 月大学卒業予定者の 10 月 1 日時点での就職内定率は 75.2%（前年同期比 4.0 ポイント増）となっている。平成 28 年 3 月卒業・修了者から、学生の就職に関する広報および採用選考活動時期の変更が実施され、企業側（日本経済団体連合会）が「採用選考に関する企業の倫理憲章」を、大学側（就職問題懇談会）が「大学、短期大学及び高等専門学校卒業・修了予定者に係る就職について（申合せ）」を定め相互に尊重し、広報活動は 3 月 1 日以降開始、採用選考活動は 8 月 1 日（翌年より 6 月 1 日に変更）以降開始されることとなった。この就職採用活動日程の「後ろ倒し」もあり、企業は採用内定者の確保に向けて、合同企業説明会への参加やインターンシップ募集に力を入れている状況であるといえる。

このような中、毎年企業の募集活動の実態が変遷し、学生は混乱している。文部科学省が公表する就職率や日程ではなく、募集活動の実態に合わせ、学生本人が希望する企業の広報を聞き、採用試験が受けられることを学生は望んでいる。

大学の学生支援はどうあるべきか、合同企業説明会でのアンケート調査を踏まえ、現状と課題を考える。

\* 茨城大学全学教育機構キャリアセンター（〒310-8512 水戸市文京 2-1-1 ; Career center Institute for Liberal Arts Education, Ibaraki University, 2-1-1 Bunkyo Mito-shi 310-8512 Japan）.

\*\* 茨城大学全学教育機構キャリアセンター キャリアカウンセラー.

\*\*\* 茨城大学全学教育機構キャリアセンター 学務部キャリア支援課.

## 1. 平成 28 年度 茨城大学合同企業説明会の概要

水戸キャンパス近隣の茨城県武道館を会場に3月2日(木)、3日(金)の2日間、計320社にブース形式で出展いただく方法で、大学主催の「合同企業説明会」が開催された。午前の部に80社、午後の部に80社を招き、25分間の説明を4回実施していただく。学生はこの2日間で計16社の説明を受けることができる。開催業務が2日間繁忙となること、企業との手続き準備等のため、運営業務をNPO法人及び支援企業に委託<sup>1)</sup>している。出展企業からは23,000円の参加費用を頂いた。



写真1 合同企業説明会の会場入り口

学生は1日目午前に263名、午後に219名、2日目午前に245名、午後に193名、のべ920名の参加があった。また別途、日立キャンパスでは理工系学生を対象に、学内で3月3日(金)、6日(月)～9日(木)の5日間、計250社の学内企業説明会を開催している。

## 2. 現状と課題を考える対象

水戸地域で実施した大学主催「合同企業説明会」を対象に考える。アンケート調査を両日実施し、1日目162名分の回収、2日目も162名分の回収があった。2日目のみ参加する学生もあるため、アンケート質問項目は重複する部分がある。今回は重複の無い1日目のアンケートに着目し、その一部の調査内容を紹介することで、現状と課題を考えることとする。このアンケート質問項目には、合同企業説明会に関することと、学生の就職活動準備状況に関するものが含まれている。



写真2 企業の説明を聞く学生  
各企業25分の説明を4回実施

## 3. アンケート結果(抜粋)

### 1) 学年

表1. 学年

分類	学年	人数	%
1	3年次	134	83%
2	院1年次	25	15%
3	その他	2	1%
99	無回答	1	1%
計		162	100%

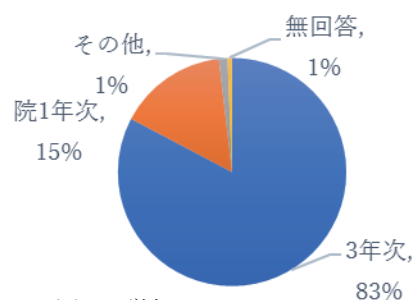


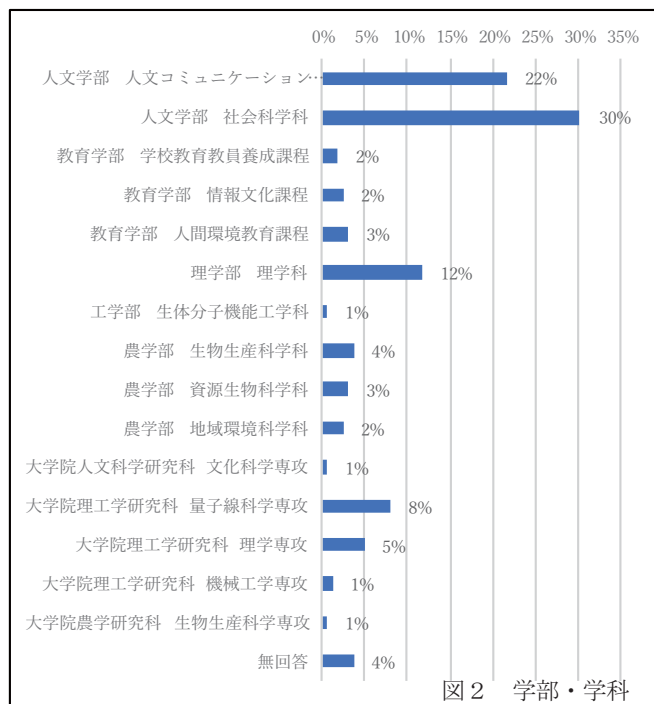
図1 学年

参加者の83%が学部3年次、15%が大学院1年次であった。

## 2) 学部・学科

表2. 学部・学科

分類	学部・学科	人数	%
1	人文学部 人文コミュニケーション学科	35	22%
2	人文学部 社会科学科	49	30%
3	教育学部 学校教育教員養成課程	3	2%
4	教育学部 情報文化課程	4	2%
5	教育学部 人間環境教育課程	5	3%
6	理学部 理学科	19	12%
7	工学部 生体分子機能工学科	1	1%
8	農学部 生物生産科学科	6	4%
9	農学部 資源生物科学科	5	3%
10	農学部 地域環境科学科	4	2%
11	大学院人文科学研究科 文化科学専攻	1	1%
12	大学院理工学研究科 量子線科学専攻	13	8%
13	大学院理工学研究科 理学専攻	8	5%
14	大学院理工学研究科 機械工学専攻	2	1%
15	大学院農学研究科 生物生産科学専攻	1	1%
16	無回答	6	4%
	計	162	100%

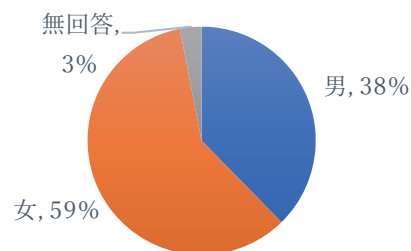


人文学部が52%、理学部が12%、理工学研究科が14%の参加であった。

## 3) 性別

表3. 性別

分類	性別	人数	%
1	男	61	38%
2	女	96	59%
99	無回答	5	3%
	計	162	100%



女性が59%、男性が38%の参加であった。

図3 性別

## 4) 出身都道府県

表4. 出身県内外

分類	出身県内外	人数	%
1	茨城県内	99	61%
2	茨城県外	54	33%
3	無回答	9	6%
	計	162	100%

参加者の61%が県内出身者であった。

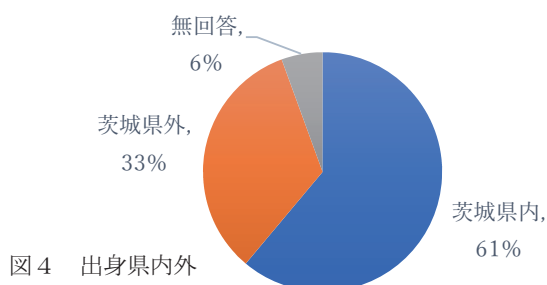


図4 出身県内外

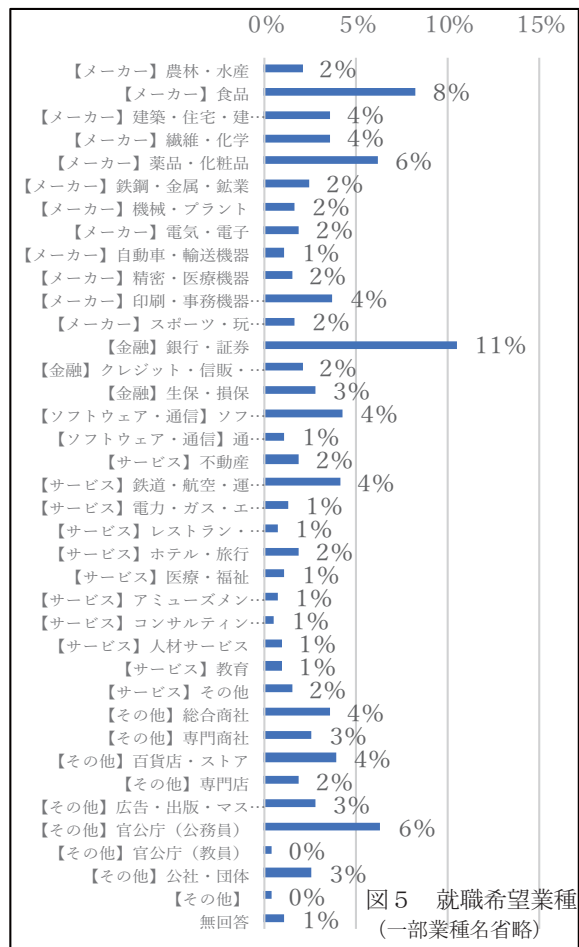


写真3 入り口横の記入台  
事前準備が大切 企業訪問シート

## 5) 就職希望業種 (複数回答)

表5. 就職希望業種

就職希望業種	人数	%
【メーカー】農林・水産	11	2%
【メーカー】食品	44	8%
【メーカー】建築・住宅・建...	19	4%
【メーカー】繊維・化学	19	4%
【メーカー】薬品・化粧品	33	6%
【メーカー】鉄鋼・金属・鋁業	13	2%
【メーカー】機械・プラント	9	2%
【メーカー】電気・電子	10	2%
【メーカー】自動車・輸送機器	6	1%
【メーカー】精密・医療機器	8	2%
【メーカー】印刷・事務機器関連	20	4%
【メーカー】スポーツ・玩具・その他	9	2%
【金融】銀行・証券	56	11%
【金融】クレジット・信販・リース・その他金融	11	2%
【金融】生保・損保	15	3%
【ソフトウェア・通信】ソフトウェア・情報処理・ネット関連	23	4%
【ソフトウェア・通信】通信・その他	6	1%
【サービス】不動産	10	2%
【サービス】鉄道・航空・運輸・物流・倉庫	22	4%
【サービス】電力・ガス・エネルギー	7	1%
【サービス】レストラン・フード	4	1%
【サービス】ホテル・旅行	10	2%
【サービス】医療・福祉	6	1%
【サービス】アミューズメント・レジャー	4	1%
【サービス】コンサルティング・シンクタンク	3	1%
【サービス】人材サービス	5	1%
【サービス】教育	5	1%
【サービス】その他	8	2%
【その他】総合商社	19	4%
【その他】専門商社	14	3%
【その他】百貨店・ストア	21	4%
【その他】専門店	10	2%
【その他】広告・出版・マスコミ	15	3%
【その他】官公庁(公務員)	34	6%
【その他】官公庁(教員)	2	0%
【その他】公社・団体	14	3%
【その他】	2	0%
無回答	6	1%
計	533	100%



金融業界 11%、食品業界 8%、薬品・化粧品業界 6%、官公庁(公務員) 6%であった。

## 6) 訪問企業数 (午前・午後)

表6-1. 訪問企業数(午前)

分類	訪問企業数	人数	%
1	1社	7	4%
2	2社	6	4%
3	3社	26	16%
4	4社	108	67%
5	0社	3	2%
99	無回答	12	7%
計		162	100%

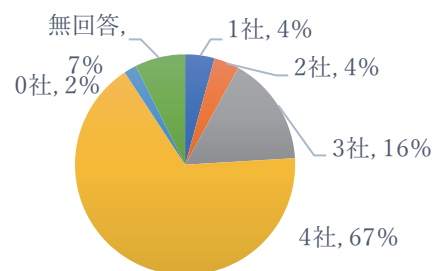


図6-1 訪問企業数 (午前)

表6-2. 訪問企業数(午後)

分類	訪問企業数	人数	%
1	1社	6	4%
2	2社	14	9%
3	3社	35	22%
4	4社	75	46%
5	0社	5	3%
99	無回答	27	17%
計		162	100%

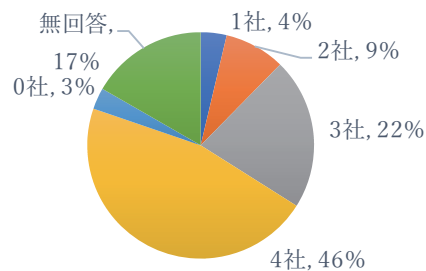


図6-2 訪問企業数 (午後)

午前、午後とも4社参加(すべて参加)する学生が最も多かった。

## 7) エントリーしたい企業数（午前・午後）

表7-1. エントリーしたい訪問企業数（午前）

分類	エントリーしたい社数	人数	%
1	1社	33	20%
2	2社	53	33%
3	3社	23	14%
4	4社	15	9%
5	0社	11	7%
99	無回答	27	17%
計		162	100%

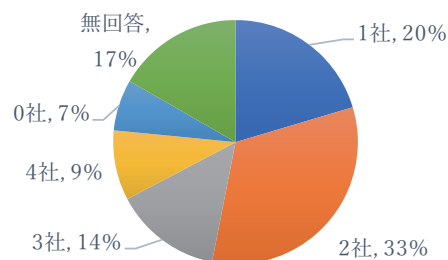


図7-1 エントリーしたい訪問企業数（午前）

表7-2. エントリーしたい訪問企業数（午後）

分類	エントリーしたい社数	人数	%
1	1社	38	23%
2	2社	38	23%
3	3社	19	12%
4	4社	10	6%
5	0社	12	7%
99	無回答	45	28%
計		162	100%

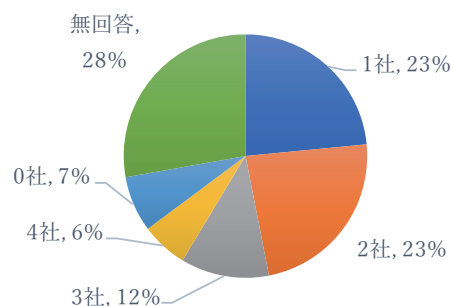


図7-2 エントリーしたい訪問企業数（午後）

訪問した企業の内、1社～2社（約半数）にエントリーしたいと学生は感じている。

## 8) 参加理由

表8. 合同企業説明会に参加した理由

分類	参加した理由	人数	%
1	選考を受けたい企業が参加しているから	31	19%
2	興味のある企業が参加しているから	53	33%
3	様々な企業の説明を聞ける機会だから	73	45%
4	時間が空いたので	2	1%
5	その他	1	1%
99	無回答	2	1%
計		162	100%

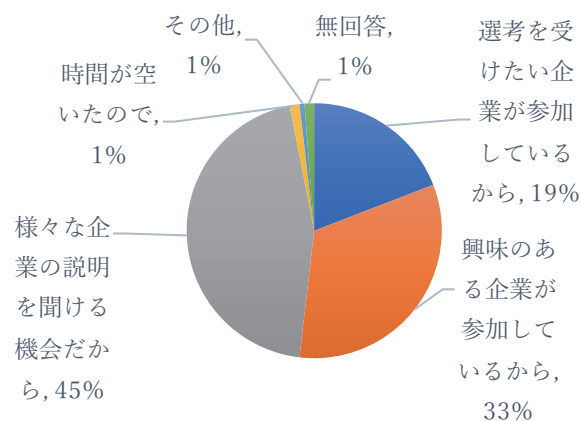


図8 合同企業説明会に参加した理由

「様々な企業の説明を聞ける機会」が45%、「選考を受けたい、興味がある企業」が計52%と半々に近い回答となった。

## 9) 希望勤務地

表9. 希望勤務地

分類	希望勤務地	人数	%
1	茨城県内	92	57%
2	東京都内	36	22%
3	関東圏内	67	41%
4	出身都道府県	19	12%
5	どこでもよい	15	9%
6	その他	1	1%
99	無回答	1	1%
計		231	143%

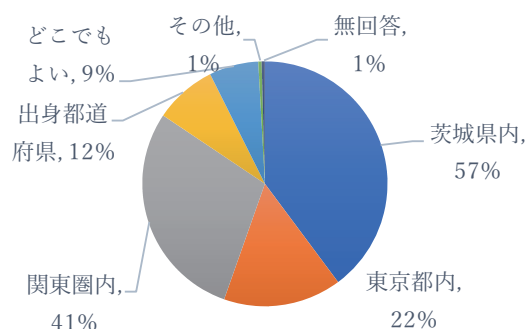


図9 希望勤務地



茨城県内の勤務地を希望する者が57%であった（参加者の内、県内出身者が61%）。

## 10) 満足度

表10-1. 合同企業説明会の満足度

分類	満足度	人数	%
1	非常に満足	47	29%
2	おおむね満足	103	64%
4	やや不満	5	3%
5	不満	1	1%
99	無回答	6	4%
計		162	100%

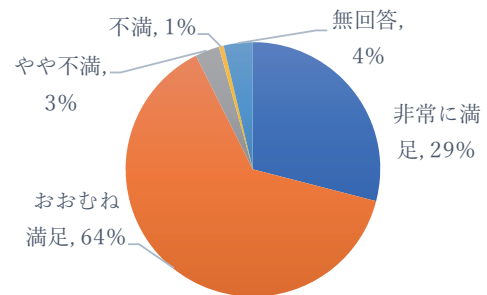


図10-1 合同企業説明会の満足度

「非常に満足」と「おおむね満足」を合わせ91%の学生が満足と回答した。自由記載部分に記入のあった内容をすべて示すと表10-2の通りである（記載順序等を整理したもの）。



写真4 企業の説明を聞く学生  
イスを移動して輪になって熱心に聴く

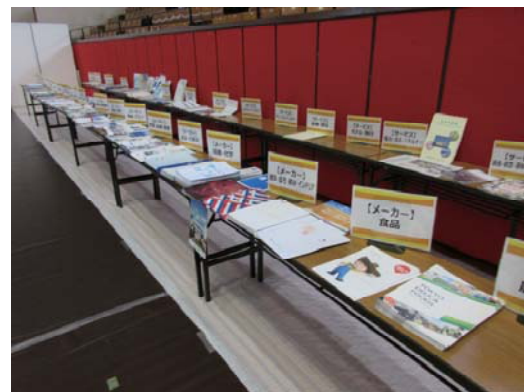


写真5 企業の資料  
資料だけでも入手することができる

## 11) 不安なことや困っていること

表11-1. 就職活動を始めて現在、不安なことや困っていること

分類	不安なことや困っていること	人数	%
1	ない	39	24%
2	ある	108	67%
99	無回答	15	9%
計		162	100%

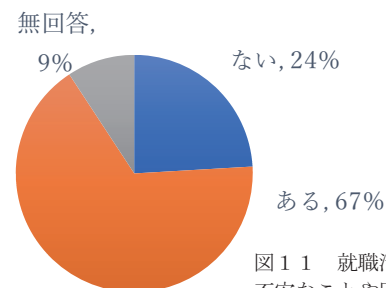


図11 就職活動を始めて現在、不安なことや困っていること

就職活動を始めて、不安なことや困っていることが「ある」と67%の学生が回答した。自由記載部分に記入のあった内容をすべて示すと表11-2の通りである（記載順序等を整理したもの）。

小磯ら：茨城大学学生の合同企業説明会に関する現状と課題

表 10-2. 満足度の理由（自由筆記）

《非常に満足》	
A	知らない企業を知るきっかけとなり、興味がわいたため
A	様々な職種の企業があり、話を聞けたから
A	企業のことがよく知れた
A	業種問わず様々な話を聞けた
A	業界選びの参考になった
A	様々な分野の話が聞けた
A	普段県内の説明会にいないような企業もいらっしやっていたから
A	色々な企業の話が聞けたから
A	業界研究、企業研究をするにあたっておおいに活用できたから
A	いろいろな業界をみれたし、茨大生に興味のある企業ということでやる気がでた
B	希望の企業の話聞くことができたから
B	興味がある企業があった
B	興味のある企業の話直接聞けた
B	志望業種の話がたくさん聞けたから
B	茨大生向けで、茨城で勤務できるところが多かったから
B	聞きたい企業の話がきけたのでよかった
B	自分の興味のある企業をきくことができた
B	本命の企業がきていたため
B	聞きたいことを聞く時間をいただけたため
B	ききたいところが聞けた
B	気になる企業のみが見れるくらいの時間だったので
C	とても参考になった
C	良い話がたくさんきけた
C	各説明がよかったから
C	よりリアルな話を伺えた。また質疑応答でより明確な事業内容を知れた
C	限られた大学の人のみの参加だったので、あわただしくなく、おちついて話がきけた。他の合説と違って、時間が全体で区切られていて、行きたい企業にいけないということがなかった。
C	とりえず企業の説明会というものを経験したかったから
C	時間が区切られていたのでまわりやすかった
《おおむね満足》	
A	子会社で思っていたものと違う会社が多かった
A	多くの企業からの話を聞くことができたから
A	多くの企業が参加していた
A	幅広い企業が参加していた
A	多くの企業の話を知ることができたため
A	様々な業界の企業の説明を聞けたため。ただ、茨城県の企業が少なく感じた。
A	色々な業界に触れることができたから
A	新たな発見が企業に対してできたから
A	色々な業種の企業の説明が聞くことができ、今後の就職活動のためになる話も聞くことができたため。時間が短く、質問する時間がない企業もあった。
A	いろいろな企業を周れた。時間がやや短い。
A	色々な企業がブースごとに分かれていて、話がとても聞きやすかったです
A	未知の企業との出会うチャンスが少なかった
A	興味のある企業が新しく見つかった。
A	多くの企業の話聞くことができたが、さらに多くの話を聞きたいと感じた。
A	参加企業が多種多様で詳しくない業界の企業と多く出会えた
A	いろんな職があつてよかった
A	幅広い職種を知ることが出来てよかった
A	様々な企業の話が直接きけたから
A	様々な職種の仕事を知れて良かったです。
A	さまざまな企業のお話を聞けたため
B	食品メーカーの話をじっくり聞くことができた
B	希望している企業があつてよかった
B	興味のある企業の話が聞けたため
B	聞きたい企業の説明が聞けたため
B	興味のある企業の説明を聞くことができたが、すべて聞きることができなかったから。
B	行きたい業種の企業があり多くなかった。県内本部企業を増やしてほしい。
B	気になっていた会社の説明を聞き、理解を深められた
B	人気のある企業に人が集中しすぎている（前半の席を増量してほしい）
B	説明を聞きたい企業が多く、4つでは足りなかった
B	ききたい企業がきけた
B	茨城県内の企業がもっとあるとよい
B	気になる企業がかたよっていたためすべて聞けなかった
C	もう少しいろいろ回りたかった
C	会社の方との距離が近く、話しやすかった
C	地図が見にくい、どこに目的の企業があるかすぐにわからなかった
C	入ってみたい会社を見つけることができたから
C	1回のターンの短かったので少し残念でしたが、もしかしたら調度いいのかもしれない。
C	自分の就職活動の幅を広げられたから
C	人が少なかったのも、ゆっくり聞けた
C	聞くべきことを聞けた
C	参加人数が少なく、落ち着いて話を聞けた
C	良い機会だったから
C	午前と午後で行きたい企業にバラつきがあり、全て見れなかったこと、資料コーナーの資料が少ないことが少し気になった。
C	メーカー、理系が多い。イスが固い！
C	時間が少しキツキツだったかと思えます。
C	ブースの移動時間が短かった
C	会場のブースの分りやすい地図がほしい。会場に貼ってあったような配置図を配付してほしい。
C	詳しくお話を聞けた。参加企業のブースの場所が少々分りにくいので、ガイドにもブースごとに会社名がほしい
C	会場も広く、聞き取りやすかったから
C	もう少し長い時間があれば
C	少人数で直接お話できて良かったです
C	実際に人事の方、研究している方などから話を聞いて、会社に対する興味、理解が深められた
C	トイレにいく時間などがほしかった
《やや不満》	
B	自分の求める業界の企業が少なかったため
C	時間が区切られているので、企業ブースが回りづらいです。
C	興味あるところを見つけられなかった。
C	4つしか聞けなかったから
C	時間を区切らなくて良いと思う。放送がうるさい。
《不満》	
C	時間が短い

※A：知らない業界や企業を知れた B：聞きたい業界や企業の説明が聞けた C:その他 （筆者が集計時に分類）

表11-2. 就職活動を始めて現在、不安なことや困っていること（自由筆記）

分類	内 容	件数
A	内定がもらえるかどうか	7
A	漠然とした不安	3
A	希望の会社に内定をもらえるか	1
A	自信がない	1
A	自分に魅力はあるのか	1
A	全体的に不安、落ちたらしうという気持ち	1
A	全部	1
A	本当に就職できるか不安	1
B	自分が無事働けるのか	1
B	自分の働いているイメージがわからない	1
B	面接で緊張してしまいそう。本当に働いていけるかが不安	1
C	エントリー数はどのくらいがよいのか	1
C	エントリーをどの程度するか、またどのくらい実際に選考を受けるのか	1
C	会社説明会の日時が同じになっている企業が多い	1
C	公務員試験と就活の両立バランス	4
C	公務員受かるか	1
C	就職活動の進め方	1
C	就職活動を始めた時期の選さ	1
C	就職の具体的なスケジュール、エントリーシートの書き方など	1
C	準備が終わらないまま解禁してしまった	1
C	スケジュールやどの程度合説や個別説明会参加すべきか	1
C	選考がどのように行われていくかわからない	1
C	選考の対策の仕方がわからない	1
C	どのくらいエントリー・書類提出をすべきか	1
C	何から始めればよいかわからない点が多々ある	1
C	何をすればよいかわからない	1
C	人前で話すのが苦手で不安。ESなど添削機会が少なく不安。就活友達がいない。	1
C	複数企業の同時選考におけるスケジュール管理	1
C	予定の重複	1
D	面接	6
D	ESの書き方	4
D	面接対策ができていない	3
D	エントリーシート対策が遅れてしまったこと	2
D	ES、SPI	1
D	ESが通るか	1
D	ESの書き方や面接対策を行っていないため	1
D	ESや面接対策	1
D	SPI	1
D	エントリーシート、面接など、エントリー以降の準備ができていない	1
D	エントリーシートや企業研究	1
D	エントリーシートや自己PR	1
D	公務員対策しかしてこなかったため、ESや自己分析が遅れている	1
D	言葉遣いやマナーは大丈夫か不安	1
D	試験対策が不十分であること、一般常識の対策を学びたい	1
D	自己分析、ES まだ終わっていない	1
D	自己分析やエントリーシートの内容に不安がある	1
D	志望動機がまとまらない	1
D	就活マナー	1
D	面接に苦手意識があり、上手くアピールできるかどうか不安	1
D	面接に弱い	1
D	面接やグループワークなどの対策	1
E	今、決めている業界で本当に良いのか	1
E	今考えている業界が本当に自分に合っているか不安	1
E	エントリーが絞ることができない	1
E	企業調べが不十分	1
E	企業において、他の企業と差別化しているポイントを含め情報収集	1
E	企業の選び方	1
E	自分が「志望」する仕事が本当に自分のやりたいことなのか自身がもてない	1
E	自分に適した所が見つかるかどうか	1
E	選考に参加する企業の絞り込み	1
E	どう基準でエントリーしていいかわからない	1
F	学業など他との兼ね合い	1
F	学業との両立、交通費が想像以上かかること	1
F	進学か就職か迷っている	1

※筆者が分類 A:漠然とした不安 B:働くこと自体の不安 C:就職活動の進め方の不安  
D:具体的な選考試験の不安(書類・筆記・面接) E:企業選びの不安 F:就職活動と大学生活の不安

## 4. 検討

### 1) 様々な企業の説明を聞ける機会

合同企業説明会の参加理由に「選考を受けたい、興味がある企業」を訪問したいとする学生が52%いる。すでに業界研究・企業研究が十分できている学生であるならば、選考を受けたい企業を訪問することに問題はない。しかし「知っている企業が少ない」ままの学生であるならば、自身の興味や視野を広げて多くの企業を訪問すべきである。「様々な企業の説明を聞ける機会だから」と答える学生も45%いる。この回答は「満足度」とも関係している。

「非常に満足」「おおむね満足」を合わせ91%の学生が満足している。自由筆記の内容を見てみると、「知らない業界や企業を知れた」と整理できる意見が多く見られた。これは重要なポイントであると思われる。学生は「選考を受けたい、興味がある企業」を訪問したいと思い、合同企業説明会に参加するが、「知らない業界や企業を知れた」と満足度を感じている一面がある。もちろん初めから「様々な企業の説明を聞ける機会」と捉えている学生も多い。また目的の企業だけの説明を聞き、満足する学生もいる。しかし、多くの学生が「知らない企業を知るきっかけとなり、興味がわいた」「新たな発見が企業に対してできた」等と意見を述べているとおり、合同企業説明会が学

生にとって、様々な企業を知る機会となること、そして企業人事担当者との具合的な「接点」になることの2点が重要である。大学主催の合同企業説明会は、学生が就職活動に「お金」と「時間」をかけず、多くの企業を訪問できることが利点である。そして茨城大学生を採用したいと熱心に説明をしていただける企業が参加する貴重な機会である。説明会当日だけではなく、学生に事前ガイ



ダンス等を通じて説明会の趣旨や利点、事前準備について伝え、理解した上で参加できれば、より機会を活かせるはずである。今後は説明会当日の他、事前教育や事後教育の充実を検討していきたい。

## 2) 不安なことや困っていること

就職活動を始めて現在、不安なことや困っていることがあると回答した学生が67%いる。自由筆記の内容を見てみると、「具体的な選考試験（書類・筆記試験・面接）」を不安に感じる者が多く、次いで「就職活動の進め方」の不安が多い。一部の学生には「働くこと自体の不安（自分が無事働けるか）など」を持つ者もいた。重要な点は67%という値である。半数以上の学生が「不安」や「困り」ごとを感じて就職活動に臨んでいるのである。これを受け止めて支援することが必要である。特に「就職活動の進め方の不安」を述べる意見が3割程を占めている。先に述べたとおり、学生の就職状況は良いが、就職採用活動日程は「後ろ倒し」で実態が毎年変遷している。一昨年、昨年との比較ではなく、今年はじめて就職活動する学生は混乱してしまうのである。不安の中に「企業の選び方」「今、決めている企業で本当に良いか」など合同企業説明会の利点となる「様々な企業の説明を聞ける機会」に関係する不安もあった。

就職活動が本格化する3月初旬で多くの不安や困りごとがある現状を踏まえて、大学生活を通じたキャリア教育と就職ガイダンスを再検討したいと考える。

## 5. まとめにかえて

本アンケート調査の対象とした水戸地域での合同企業説明会は学部、性別等に偏りがある。理工系学生を中心に日立キャンパスで学内企業説明会が開催されるため、大学院生の参加も日立キャンパスが多いものと思われる。「後ろ倒し」日程のため、企業の広報活動は3月1日以降開始されるが、実際には首都圏企業の活動は早く、3月以前から実質的な企業説明が行われている。一方で県内企業の情報は少なく、合同企業説明会参加学生の61%を茨城県内出身者が占めている。希望勤務地も57%が茨城県内と回答している。希望業種は、金融業界（銀行・証券）及び、食品業界、薬品・化粧品業界、官公庁（公務員）の希望が多い。これは「知っている業界」を希望しているものと思われる。もちろん「知らない業界」に興味は持てないが、知っている業界や企業が少なく、この少ない範囲から職業の選択を希望しているものと考えられる。また、この希望業種と「地元就職」を重ねると、学生の選択肢はより狭いものとなる。合同企業説明会は、午前・午後とも企業から4回の説明があるため、各4社、1日で計8社の説明を受けることができる。午前午後とも4社訪問した学生が多く、合同企業説明会の機会を有意義に活用している。しかし、午前で37%、午後で54%の学生は4社未満の訪問に留まっている。「興味のある企業」のみ訪問する学生も多く、この機会を活用できていない学生も少なくない。説明後にエントリーしたい企業数は、訪問企業数の半数程度と回答されている。説明を聞いて「働きたいと思わない」との回



写真6 企業の説明を聞く学生  
多くの学生が集まり、立って聴く

答であり、57%が茨城県内企業を希望していることと合わせて、地元企業の魅力をどう発信するべきか検討が必要である。

学生には多くの不安や困りごとがある。この現状を踏まえ、今後の課題として大学生活を通じたキャリア教育と就職ガイダンスを充実したいと考える。合同企業説明会は良い機会であり、説明会当日だけではなく、よりこの機会を活かすための事前教育や事後教育を検討していきたい。

大学生の就職状況は近年好転し、いわゆる「売り手市場」と呼ばれている。学生の参加が見込める大学主催の合同企業説明会に参加希望いただける企業も多い状況となっている。大学側は業務が短期間に繁忙となるため準備や運営を委託することが多く、その費用を出展料として企業に負担いただいている。他大学においては説明会を充実させるため比較的高額な出展料となる場合や、その収入を学生への別な就職支援に結び付ける場合<sup>2)</sup>もあると思われる。また新卒採用に人材紹介制度を適用する大企業<sup>3)</sup>もあるが慎重な検討が必要である。大学は法律上、無料職業紹介の制度の中で学生の就職支援を行っている。この理念が重要である。学生が成長し希望する進路に進めるために大学はキャリア教育や学生支援をすべきである。合同企業説明会だけの課題ではなく、キャリア教育や就職支援としてのあり方を考えていく必要がある。

<sup>1)</sup> 今回実施した「茨城大学合同企業説明会」の準備と運営業務をNPO法人雇用人材協会、株式会社セキショウキャリアプラスに委託している。本アンケート調査集計も実施いただいた。

<sup>2)</sup> 近隣T国立大学では学内企業説明会を10日間で706社、出展料1社70,000円で実施。西日本のK国立大学ではキャリアフォーラムを3日間で300社、出展料1社200,000円で実施。株式会社リクルートキャリアでは北関東で就職開幕LIVE等のイベントを開催し、出展料1社200,000円～500,000円で実施している。また、首都圏T国立大学では産業セミナーとして参加学生に500円の図書カードを提供している。

<sup>3)</sup> 株式会社ベネッセi-キャリアでは「新卒採用にも人材紹介を。」完全成功報酬として、企業に向けて文系80万円・理系90万円(税別)で新卒紹介サービスを実施している。内定承諾者が入社辞退した場合は全額申込み企業に返還される制度としている。

#### 引用文献

松坂 晃, 長谷川照晃. 2014. 茨城大学学生の就業力に関する現状と課題. 茨城大学大学教育センター紀要. 4, 29-37.

松坂 晃, 廣瀬孝一. 2015. 茨城大学学生の就業力に関する現状と課題(2)ー就職活動後ろ倒しの影響ー. 茨城大学大学教育センター紀要. 5, 45-51.